



るうてる



2015年
2月
No.813

■発行所
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト <http://www.jelc.or.jp>
■E-mail jelc@jelc.or.jp
■発行人 安井宜生 koho06@jelc.or.jp
■印刷 精文堂印刷株式会社
■定価 1部40円 (郵税を含む)
■振替口座 00190-7-1734

説教「内面の太陽」

日本福音ルーテル西条教会牧師 鐘ヶ江昭洋

「天の国は次のようにたとえられる。畑に宝が隠されている。見つけた人は、そのまま隠しておき、喜びながら帰り、持ち物をすっかり売り払って、その畑を買う。」(マタイによる福音書13章44節)

陽気でいよう。陰気にならないようにしよう。神さまとの出会いは、常にセレブレーション(祝宴・祭典)だから。そしてまた、陽気であることは、祈りでもあるのだから。神さまの世界は、祝宴の舞台である。ゆえに、

常に喜びに満ちていよう。そして、その喜びを自分の祈りにしよう。イエスの譬え話は、人間が祝宴に招かれる話で満ちている。陽気であるための手短な経験は、笑である。笑いは、最も神聖な経験の一つであ

る。しかし、人々の笑いは浅い。事実、子どもの方がよく笑う。完全に笑う。しかし、子どもも成長するに従って笑いが浅くなり、笑いを抑えるようになってしまふ。笑うべきか、笑うべきでないかの判断を下すことを躊躇するようになる。小

さな子どもたちの笑いをもう一度思い出し、意識的にトータルに笑おう。そして、他人に対してだけではなく、自分に対しても笑おう。笑う機会を逃してはならない。笑いは、祈りだ。神への祈りなのだ。

そのひとつが「天の国の発見の喜び」である。イエスの言う「天の国」とは、パラダイス、そして祝宴のことである。そしてそれが大きな喜びになるのは、自分の内面にある「生命の根源」すなわち、「永遠の命」を発見する時である。それは例えて言うならば、「内面の太陽」の発見である。

私たちが「神の国」を発見する時、その内側にも太陽がある。外の太陽は昇り、そして沈む。しかし、内側の太陽は、いつもそこにある。それは昇ることもなく、沈むこともない。それは永遠



くもない。その人生には情熱がない。だから、今この時を、パラダイスにしよう。これを先延ばしにしないように。決して、延期してはならない。あなたが手にした唯一の瞬間なのだ。だから陽気でいよう。もつと笑おう。これは実に、具体的に現実的な体験である。そのためにも、イエスの譬え話は背後から私たちを励ましていく。

さらに「神の畑」とは、言い換えれば「神の手の中」。神の加護の中。「神の保障」を意味している。それゆえ、人間はこの世界について、何一つ心配する必要がなく、ただ、おゆだねするだけである。信頼するだけで充分なのである。

「神の」という言葉は、「神のもの」を強調している。イエスは「神の国は、実にあなたがたのただ中にあるのだ」(ルカ17・21、口語訳)と言う。私たちが「神のもの」であるがゆえに、私たちが中に宝物があるのだ。「内面の太陽」が、燦々と輝いている。



である。内側の太陽と、その源泉を知らなければ、人は暗闇の中に生きることになる。しかし、その源泉を発見すれば、たちまちそれは人を深い深い至福の国、パラダイスに連れてゆく。そして今日、その旅は始まるのだ。

第22回 春の全国ティーンズキャンプ

春の全国ティーンズキャンプ
…おかえり、いっぴりっしゅいっ…

2015年3月26日(木)～28日(土)
千葉県少年自然の家

詳しくは→<http://tngteens.hamazo.tv/>

宗教改革500年記念シンボルマーク表彰式

2014年12月25日、JELC 大阪教会にて、シンボルマーク表彰式が行われました。このデザインを制作されたお二人、坂本さんは大阪、南端さんは兵庫にお住まいであり、今回はJELCを代表して、全国常議員の一人である滝田浩之西教区長より表彰状が贈呈されました。

(左から、坂本信也さん、滝田浩之牧師、南端久也さん)

「神の前で」の判断(信仰に基づく判断)と「人々の前で」の判断(一つの社会が共有する価値観は、確かに重なる場合も少なからずある。「殺すな」という十戒の命令は、「社会倫理」の判断と重なる。だから、われわれはついつい「神の前で」と「人々の前で」とを無意識に混同する。

「真理はただ一つ」という確信に立つトマススコラ主義は、「神の前で」と「人々の前で」という判断領域を体系的に重ねるので、「神学大全」の中には、アリストテ

レスの「ニコマコス倫理学」からの引用も多い。つまり「信仰」と「理性」とは究極的には調和している、というのがトマスのスコラ主義の確信であった。

エデンの園の出来事は、「善悪を知る木」の果を神の命令に背いて食べたことであった。それは、人間が踏み込んでならない「判断領域」に踏み込んでしまった、ということ象徴的に示している。それが「理性の横暴」であった。

神と人間が向き合う場では、すべては神の判断、つまり神の言葉が基準になる。神の前での「善悪の判断」も神の言葉がすべてである。「九七箇条」の過激な言葉は、この基本姿勢からの発言である。



時代に教会に通い始めた時に教会でも総会があることを知り、いささか驚いたことを記憶しています。教会はこの世のこととは異なることを行っている所と思っていますので、会社と同じような

主総会とはどうしても異なる点があることにも思いを馳せなければなりません。もちろん総会でも教会の経営とも言えることが協議されることではないでしょうか。礼拝出席者数や受洗者の数を気にし、献

の総会には、神様への祈りがあり、讃美があり、感謝がなければなりません。そして互いの奉仕の業を労い、1年の成果を感謝し合うのです。様々な課題や大きな壁に直面した問題が話題に上った

な危機に直面した時に取った行動は意外なものでした。役員と共に定期的に集まり、聖書を聞き、そこから自分たちがなすべきことを互いが確認し、これから実行することへの神様の助けを祈ったのです。しかもそれは短時間であったのです。キリスト者にとっては当然のことであり、しかもどの教会でも、誰もがなす得ることでした。しかし、ここから道が開けていったのです。

浅野ゆり(市ヶ谷教会) 昨年12月7日に「Light for LIMA」という集まりがありました。これには、同月にベルギーのリマで開催された COP20 (第20回国連気候変動枠組条約締約国会合) に合わせて、宗教を越えて気候変動を心に留めようという想いが込められています。そして、その会議でよい方向に進むようにという願いはたちまち世界中に広まり、同じ時間に日本以外の国

でも気候変動を覚える祈りを合わせる時がもたれました。日本での集まりは、東京都内のマンションの屋上で、ろうそくの灯火とソーラーライトの明かりを囲んでひっそりと行われました。(写真)その日集まったのは私を含め6人。参加されていた方の中には普段の職業においても環境問題に積極的に取り組まれている方もいらっしゃいました。正直に言いますと、私が想像していたのは数十人の人がぞぞぞと参加しているような大きな集まりだったので少々拍子抜けしてしまつたところもありました。しかし、何事も初めは小さなところから始まること、同時に人々の気候変動への関心の薄さの表れであるのかもしれないとも思われました。

本ルーテル教会でも大和由祈さんを中心となつて呼びかけをしており、私も彼女の発信からこの運動を知り気候変動への意識を向け始めたところでした。そして、Light for LIMA の集いにも興味を持ったのです。

「教会の総会」となることを願って

総会議長 立山忠浩

2月は各教会にとつては総会の開催時期です。昨年の活動を振り返り、決算の承認を行い、そして今年の宣教活動について話し合い、予算案の決議や役員選挙も行われることでしょう。

総会が開かれていることに違和感を覚えたので。しかし、教会の総会も株主総会と同様にとっても大事なものであることを後に知りました。ただ、教会の総会は、株

金など会計上のことも話し合われ、教会経営に関する事柄が主要な議題となるのが避けられないかもしれません。しかし、大切な点を忘れてはいけません。教会

時にも、あれこれと対策を論じる前に、まずキリスト者としてなすべきことを思い起こすのです。ドイツのルーテル派の牧師であったフルームハルトが、教会を襲つた深刻

各教会の総会が神様に祝福され、教会として相応しい会となりますようお願い致します。

「5種目」を楽しむ。高齢者パワーが地域で喜ばれ、「はっぴーくらぶ」があるから安心して暮らせると、役に立っていることに感謝しています。学校・保育園・高齢者施設からも、今まで出来なかつたことが出来るようになったと好評です。信仰者として心を尽くして対応することを心掛けています。聖書を直接語りなくともクリスチャンの心の奥にあるキリストを感じてくださることを願っています。

それそれまつたく別の団体の取り組みであるけれども、向いている先はどちらも気候変動への危機感や、影響を受けて困難の中にある人々とのつながりであると言えます。神様が創造された素晴らしい地球を世界中の人々と共に祈り、行動することで守っていく必要があります。まずは私自身が環境問題をより身近に捉え、アクションとして発信へとつなげます。私たちの住む大切なこの星のために。

宣教の取り組み「信仰発」地域活動

名嘉匠安(藤が丘教会)

子どもを介して大岡山教会に導かれ、その後、開拓伝道の藤が丘教会へ転籍し、現在に至っています。教会では「ピスケット(美・助っ人)隊」を組織し、教会で必要な道具を作ったり、修繕をしたりしています。流しそうめんの台やアルミ製の折たたみ椅子収納台車が最近の作品です。地域活動を始めて13

年になります。当初は障得者や高齢者の通所・通院等の送迎ボランティアを行っていました。その後、地域の高齢化が深刻であることを知り、見守りと助っ人の必要を感じて知人と同居高齢者・体の不自由な方々への対応として、微少な助っ人の会「ピスケットの会」を発足して相談活動をスタートしました。程なく社会福祉

て再スタートしました。現在「はっぴーくらぶ」は56名の地域メンバーと共に次のような活動をしています。(写真)

ランテア：買い物ヘルプ、話し相手(傾聴)等。#ぼけ防止・ロコモ解

消・脳トレ活動：スポーツ麻雀教室は、高齢者の外出交流の場、また団塊世代が地域デビューするきっかけの場となつている。囲碁将棋・ニュースポーツ等、趣味の共有にも取り組む。

学校教育サポーター：昔の遊び(10種目)を子どもたちに伝える。昔の暮らし体験(火起こし・紙芝居)や戦争体験語り部。その他工作(昔の遊具)、農作物作り、囲碁将棋教室、ニュースポーツ

協議会から地域の高齢者を対象に多角的なものと欲しいとの要請があり、9年前に「はっぴーくらぶ」とし

木の剪定・伐採・草取り、住宅の整理整頓・重量物の移動・資源ゴミの搬出等。



室、ニュースポーツ

Fast for Climate です。これは「気候変動を止め、温暖化を止めるために、気候変動の影響を受ける人々に連帯し、毎月1日に断食する」というものです。日

さて、そもそも私が今回の集まりに参加しようと思つたきっかけは、ルーテル教会の青年が火付け役となつた Fast for Climate です。これは「気候変動を止め、温暖化を止めるために、気候変動の影響を受ける人々に連帯し、毎月1日に断食する」というものです。日



礼拝式文の改訂



*改訂共通聖書日課 (RCL)と特別の祈り

式文委員 浅野直樹

主日礼拝では聖書朗読の直前にひとつの祈りをささげます。これを「特別の祈り」と呼んでいます。多くの教会では会衆も声を合せてこれを祈ります。何が特別なのかというと、その日の主日の聖書箇所のために特に整えられた祈りだからです。特別の祈りが、その日の朗読聖書が指し示すことばの中心テーマを簡潔に示してくれま

す。そういうわけでこの祈りは主日ごとに読む聖書箇所の影響を大きく受けます。聖書日課が変われば、特別の祈りも変更することになります。そして今、式文委員会は改訂式文に向けて、礼拝のための新しい聖書日課の使用を検討しています。それが改訂(Revised)共通(Cannon)聖書日課(Lectary)、RCLです。これは主要なプロテ

スタント教会やカトリック教会が共同で取り組んで作ったエキュメニカルな聖書日課です。世界の各教会が、しかも教派を越えて、主日と同じ聖書テキストから同じみことばを聴こうという思いから、1992年に完成しました。世界の多くのルーテル教会もこの日課を採用しています。現在日本福音ルーテル教会が使っている聖書日課は、かつてアメリカのルーテル教会や他の主流プロテスタント教会が共同で編纂

したもので、世界のものとして編纂されていったものではないです。世界の多くのルーテル教会が正式採用してきており、これが今最も広く用いられている主日の聖書日課といえます。主日礼拝の聖書日課は3年周期で構成されています。そして共観福音書といわれるマタイ、マルコ、ルカ福音書を3年ごとに繰り返し読みます。共観福音書ではないヨハネ福音書は、四旬節や聖週間、復活節を中心に随所に組み込まれていて、いずれの年にも読むように編まれています。こうした構成は、共通聖書日課(RCL)も改訂版のRCL

も同じです。教会手帳の最終欄にはRCLが掲載されていますので、現行のものと比較することができます。日本福音ルーテル教会が聖書日課を従来のものからRCLに切り替えるとなると、特別の祈りもそれに併せて作り直すこととなります。現行の青式文にある特別の祈り式文にある特別の祈りは、3年周期の各年いずれにも共通の祈りですが、RCL採用にあたっては年ごとに個別の祈りを設ける予定です。過去3年間にわたって各教会へメール配信でお届けしてきたRCLに基づく祈りは、アメリカ福音ルーテル教会(ELCA)の祈りの邦訳で、日本福音ルーテル教会が正式採用する最終版ではありません。今後これをもとに日本語表現としての適正や用語の統一、礼拝で声に出して祈るといった様々な使用法を考慮しながら、さらに検討を重ねていく予定です。

礼拝全体を検討し見直すために設置された式文委員会の働き「式文改訂」について、日本ルーテル教会と共に、その解説をお届けします。



連載 マルティン・ルター、人生の時の時(1)

江口再起

ルターによって開始された宗教改革500年を2017年に迎えます。ルターはとも有名な歴史上の人物で、キリスト教と聞いて日本人が思い浮かべるベスト・スリーに入りま

る、そのまさに中間の時に当たります(日本で言えば、室町時代から戦国時代)。よくイタリアの「ルネサンス」とドイツの「宗教改革」が近代の幕を開いたと言われていますが、近代を特徴づける(初期)資本主義の勃興期です。事実、ルターの父親はいうならば初期資本家の一人です。彼はもともと銅山の作業員でしたが、よく働き立身出世し、のちに鉱山の所有者、市の参事会員にまでなったのです。そういう家庭にルターは生まれました。したがって、ルターの教育環境はともめぐまられたものでした。5歳でマルスフェルトのラテン語学校、14歳からはマグデブルクやアイゼナツハの学校、そして18歳でエルフルト大学で法律を学ぶための勉強を始めます。当時の大学生はエリート中のエリートでした。

2つ目は、ルターを学ぶためには、彼の人生をたどることが一番、早道だということ。ルターという人は、その生き方(人生)と思想(信仰)がとも深く結びついてきた人でした。頭の中や感情だけの信仰ではなかったのです。彼が人生のただなかで悩み苦しんだ問題と、信仰(思想)が結びついてきたのです。この2点に留意しながら、以下、ルターの人生の時を、7つの局面に区切って、学んでゆくことにします。マルティン・ルター、人生の時の時です。

雷にあうのです。死の恐怖。ルターは守護聖人アーンナ様に命ごいをします。とっさのことでしたので彼は思わず、命さえ助ければ生涯を神に捧げる、つまり修道院に入りますと叫んだのです。雷はおさまりました。命は助かった。ならば、修道士にならざるを得ない……。落雷から2週間後、ルターは本当に大学をやめてエルフルトの「アウグスティヌス隠修黒修道院」に入ってしまったのです。22歳のときでした。さて、ここで二つの問題が生じます。一つは、彼の心の問題、もう一つは親との関係です。

1つは、ルターを学ぶとき、その重要なポイント、まずはくつきりと学ぶことです。抽象的な込み入った教理に頭を突っ込んだり、二次的三次的なエピソードに深入りする前に、まずはルターが一番大事なところを重点的に学ぶことが大切です。

ところが、そういうルターに突然、危機が襲いかかるのです。1505年7月2日、両親の下への帰省からエルフルト大学へ戻る途中、シュトゥツテンハイム村の近郊で落



公告

この度左記の行為を致しますので、宗教法人法第23条の規定に基づき公告致します。
2015年2月15日

- 宗教法人 日本福音ルーテル教会
- 代表役員 立山忠浩
- 種類 礼拝堂
- 構造 鉄筋コンクリート造2階建て
- 面積 173.76㎡
- 3階 4階 8.41㎡
- 理由 新会堂・牧師館建築のために旧礼拝堂部分を取り壊す

記

信徒・利害関係人各位
挙母教会桜町礼拝所
建物取り壊し

2014年度「連帯献金」報告

2014年度の「連帯献金」は各教会・団体及び教会員・教会関係者の方々から、5,627,906円の献金を、それぞれの宣教・奉仕の活動のために捧げていただきました、感謝して報告いたします。(敬称略)

■ブラジル伝道 690,170円
大岡山教会、熊本地区宣教会議、東教区、大垣市内信徒会、帯広教会、天山ルーテル学園、保谷教会、東教区女性会、小石川教会、千葉教会、乙守望、下関教会、女性会連盟、保谷教会女性会、京都教会、めばえ幼稚園、博多教会、本郷教会

■喜望の家 2,907,200円
ブラウンシュバイク領邦教会、西条教会、市ヶ谷教会

■メコンミッション支援(カンボジア) 160,000円
九州学院中学・高等学校、保谷教会、市ヶ谷教会

■フィリピン台風救援 775,750円
小倉教会、恵泉幼稚園、大分教会、別府教会、箱崎教会、太田福音ルーテル教会(西日福)、蒲田教会、大岡山教会、沼津教会、武蔵野教会、東京教会、小岩教会、千葉教会、三鷹教会、林民夫・直子、唐津教会、堤雪子、札幌教会

■世界宣教(無指定) 774,136円
舛田智子、沼津教会、箱崎教会、帯広教会、一粒の麦、久留米教会、日本福音ルーテル社団、太田立男、千葉教会、小石川教会、めばえ幼稚園、博多教会、神水教会、蒲田教会

特記「東日本大震災救援献金」報告

震災発生後の2011年度から2013年度に至るまで、3年間、宮城県の現地にて、復旧・復興のための支援活動を3年間継続してきました。4つのルーテル教会の共同による「ルーテル教会救援」(LER)活動は2014年3月末をもって終結いたしました。2014年度においても、以下の教会、信徒の方々、教会関係者・団体から支援活動のために献金がありましたので、ここに感謝して報告します。

■東日本大震災救援献金 320,650円
恵泉幼稚園、箱崎教会、日田教会、大森教会、堤雪子、千葉ベタニヤホーム、西日本福音ルーテル教会、横浜英和学院、沼津教会、羽村教会

今年度も、社会・世界における福音の宣教、奉仕、災害・飢餓に苦しむ方々に連帯したいと願ひ祈ります。「連帯献金」を捧げてくださる場合には、それぞれの献金目的 [ブラジル伝道] [喜望の家] [メコンミッション] [世界宣教] を郵便振替用紙に明記して、以下の口座に送金くださるようお願いいたします。

郵便振替 00190-7-71734 名義(宗) 日本福音ルーテル教会



いよいよ、わたしたちの記念事業がはじまります。事業の構成は内と外の区分を意識し、内に盛り上がりがあつて外に向かうイメージを進めま

す。宣教的な側面は必須であり、内輪の祭りとならぬように「聖書が示しているものやルーテルが大事にしている事柄を、一般社会にも価値を發見

「ねらい」。宗教改革500年記念の機会を活かして、ルーテルの特色や役割の検証、基本的姿勢の確認と確立につなげます。

「ねらい」。宗教改革500年記念の機会を活かして、ルーテルの特色や役割の検証、基本的姿勢の確認と確立につなげます。

「ねらい」。宗教改革500年記念の機会を活かして、ルーテルの特色や役割の検証、基本的姿勢の確認と確立につなげます。

「ねらい」。宗教改革500年記念の機会を活かして、ルーテルの特色や役割の検証、基本的姿勢の確認と確立につなげます。

ルーテルに属する良質の誇りや感謝の思いを深める機会となるように努めます。

「ルーテル教会、ルーテルグループ諸事業体(幼保、学校、福祉)から、改革の志を宿して、未来へ向かう日本・世界のあり方に関することばを語り、その創造に取り組みます。

「ルーテル教会、ルーテルグループ諸事業体(幼保、学校、福祉)から、改革の志を宿して、未来へ向かう日本・世界のあり方に関することばを語り、その創造に取り組みます。

「ルーテル教会、ルーテルグループ諸事業体(幼保、学校、福祉)から、改革の志を宿して、未来へ向かう日本・世界のあり方に関することばを語り、その創造に取り組みます。

「ねらい」。宗教改革500年記念の機会を活かして、ルーテルの特色や役割の検証、基本的姿勢の確認と確立につなげます。

「ねらい」。宗教改革500年記念の機会を活かして、ルーテルの特色や役割の検証、基本的姿勢の確認と確立につなげます。

「ねらい」。宗教改革500年記念の機会を活かして、ルーテルの特色や役割の検証、基本的姿勢の確認と確立につなげます。

「ねらい」。宗教改革500年記念の機会を活かして、ルーテルの特色や役割の検証、基本的姿勢の確認と確立につなげます。

「ねらい」。宗教改革500年記念の機会を活かして、ルーテルの特色や役割の検証、基本的姿勢の確認と確立につなげます。

「ねらい」。宗教改革500年記念の機会を活かして、ルーテルの特色や役割の検証、基本的姿勢の確認と確立につなげます。

2017年12月末までの3年に渡る期間です。全国総会で既に決議をいただいた募金計画ではありますが、各教会の2015年度教会総会において、推進する価値のある取り組みだと主体的な声があり、そこから「やってみようではないか!」とスタートされるようにと願っています。この間、いつでも受け付けます。

「募金について」
Q. この事業を進める予算はどのように考えられていますか?
A. 「宗教改革500年記念事業」の予算を690万円と定め、その内500万円を募金とし、JELC予算会計より190万円を繰り入れると2014年全国総会で決議されました。
Q. 募金は、どのように使用されますか?
A. 費用内訳の規模からみれば、最大は「全国巡回企画展の開催」と予測されています。(※詳細は、各教会に配布されています)「第26回日本福音ルーテル教会総会」資料「宗教改革500年記念事業予算書」をご覧ください。
Q. 募金の送金先はどこですか?
A. 現在、「ルーテル連帯献金」で使用している日本福音ルーテル教会の郵便口座と致します。この口座に新たに区分を設けます。送金の際に、振込用紙へ「宗教改革500年記念事業」と記載してください。なお送金は、現在と同じように、教会(団体)、個人、いずれでも結構です。また、事務局に、現金書留で送つてくださる方、持参くださる方もありますが、こちらも今まで同様に受領させていただきます。

■郵便振替:
00190-7-71734
■名義: (宗) 日本福音ルーテル教会